

J-クレジット制度管理者御中

実績確認概要書

令和元年 8 月 27 日

審査機関名 ソロテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	下水処理場における太陽光発電設備と自家用バイオマス発電機の導入
承認番号	JCDM-PJKC1308
排出削減事業者名	黒部市
排出削減共同実施事業者名	株式会社アース・コーポレーション
事業実施場所	黒部市浄化センター (住所) 富山県黒部市堀切 1188
事業の概要	下水処理場における処理過程で発生するバイオガス(メタンを主成分とする消化ガス)を燃料とする自家用発電機を新設し、太陽光発電を導入することで購入電力を削減し、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2011 年度 : 144 tCO2/年 2012 年度 : 117 tCO2/年 2013 年度 : 153 tCO2/年 2014 年度 : 149 tCO2/年 2015 年度 : 143 tCO2/年 2016 年度 : 139 tCO2/年 2017 年度 : 133 tCO2/年 2018 年度 : 133 tCO2/年 (事業実施期間合計 1,111 tCO2)
認証期間	開始日 2011 年 5 月 2 日 終了予定日 2019 年 5 月 1 日 ※J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2019 年 5 月 1 日となっている。
排出削減方法論	方法論番号 008 太陽光発電設備の導入 方法論番号 030-A バイオマス燃料とする自家用発電機の新設

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2019年3月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	1,190 tCO ₂ （2013年4月1日～2019年3月31日）
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないため該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 設備運転日報・月報による発電量データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 設備運転日報・月報による発電量データ、排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 設備運転日報・月報による発電量データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、発電量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.4により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。 4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認

	排出削減量の算定結果を設備運転日報・月報による発電量データと集計表との突合、さらに計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は2013年4月1日から2019年3月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2019年5月1日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量は以下の通りである。

方法論 008 太陽光発電量 63,485 kwh

方法論 030-A バイオマス発電量 2,174,980 kwh

以 上